

2025年度 とりくみ発信自主研修のご紹介

2025.3 部門連携会議

当法人では、専門職としての学びを深め、実践をより良いものへと高めていくことを目的に、2025年度より「とりくみ発信自主研修」を実施しています。

この研修は、学ぶ・振り返る・発信する力を育て、多職種が協働しながら実践を磨いていくことを大切にしました取り組みです。

■ 研修の特徴

- ・ 動画（VOD）を活用した自由参加型の学習機会

過去の研修動画を活用し、職員が自分のペースで学べる環境を整えています。

忙しい業務の合間でも参加しやすい点が、多くの職員から好評でした。

- ・ 実際に集まって学び合う場も重視

発表者への質問や意見交換など、対面だからこそ得られる学びも大切にしています。

VODの利便性を保ちながら、今後は対面の機会とのバランスをより整えていく予定です。

- ・ 発表を通して表現力・発信力を育てる

発表準備への負担を心配する声もありましたが、実際には発表者から大きな負担の訴えはなく、「自分の実践を整理できた」「他職種の視点を知る機会になった」といった前向きな声が多く聞かれました。

■ 研修の内容

5月	児童発達支援課	誰にでも好い事作り療法	10月	ハビリテーション課	安全な食形態とは
6月	ハビリテーション課	腰痛ストレッチ	11月	成人活動支援課	介護の基本のき 移乗
7月	成人活動支援課	介護の基本のき 着脱介助	12月	児童発達支援課	くりーむクラブ活動
8月	診療課	災害対策	1月	地域支援課	地域支援課活用法
9月	事務課・施設業務課	・事務の基本とクロッション ・施設業務のあれこれ			

■ 参加状況と今後の課題

- ・ 2025年度は、約7割の職員が自主的に参加し、その半数が複数回参加しました。
- ・ 一方で、約3割の職員が未参加であったことから、より多くの職員が参加しやすくなる工夫が今後の課題です。

■ 今後に向けて

- ・ 「とりくみ発信自主研修」は、職員一人ひとりの学びを支え、事業所全体の実践力向上と多職種連携の強化につながる重要な取り組みです。

- ・次年度も、参加しやすさと学びの質の両立を目指し、より良い研修の形を追求してまいります。